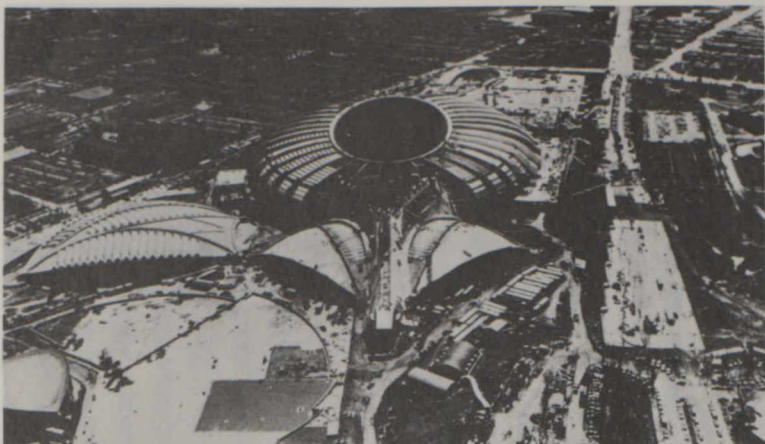


オリンピック大会 いよいよ7月17日開幕

◀オリンピック・パーク

第二十一回オリンピック大会が七月十七日、いよいよモントリオールで開幕する。世界百十カ国以上の選手たちが、八月一日までの二週間、陸上、水上、バスケットボール、体操、柔道、レスリング、カヌーなど二十一の種目で、より速く、より高く、より強く、と、それぞれの力を競う。

モントリオールにとって、オリンピック大会の開催は長年の夢であった。すでにクーベルタン男爵がオリンピック大会復興を呼びかける五十年前も前に、モントリオールは幅飛び、高飛び、三段飛び、ハンマー投げ、円盤投げ、百メートル競走、四百メートル競走などからなるミニ・オリンピック大会を開き、近代オリンピックに先鞭をつけている。そして一九二



九年には三二年冬季オリンピック開催に立候補し、十年後には一九四四年冬季大会の候補地となった。一九六六年には七二年夏季大会を誘致したが不成功に終り、七〇年にモスクワ、ロサンゼルスと争ってようやく夢を実現することになったわけである。

サッカーやハンドボールの一部がトロントやオタワで行なわれる以外、すべてモントリオール市内または隣接地で催される。競技の大半は、モントリオールの中心部からわずか五キロ（地下鉄で十五分以内）にあるオリンピック・パーク内の諸競技場で行なわれる。パークは、世界的に有名な大植物園や市営ゴルフ場などを擁する広さ五百五エーカーのメゾヌープ公園内にあつて、いずれモントリオールでオリンピック大会が開かれればここだ、と四十年前前から大スポーツ・センターとして開発を待っていたところ。パークの広さは百十五エーカーもある。

パーク内には、誘致決定前にすでにメゾヌープ・スポーツ・センターとモリス・リチャード・アリーナが建設されていて、大会ではレスリング（両施設）とボクシング（アリーナ）の競技場として利用される。

競技の八割は既設の施設で行なわれる。しかし、目玉はやはり新築されたオリンピック・スタジアム兼水泳競技場にペロドーム（自転車競技場）、それに千人近くの各国選手や役員が宿泊するオリンピック村だ。スタジアム・水泳競技場は一見ひとつの構造物に見えて、実は地上百六十メートルのマスト（大会後に完成）、水泳競技場、スタジアムの三つの建物からできている。マストの内部には十八階の建物ができる予定で、最上の二階は市全体を眺望するレストランになる。その他は階は練習場にとつてあるが、大会後



はいろいろなスポーツの競技場として使用される。マストはスタジアムの競技場を覆う屋根をなすほか、水泳競技場とスタジアムの一部を形造っている。水泳競技場は五階建てで、

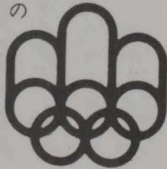
五〇メートル・プール二つにダイビング用プール一つ、そのほかロッカー・ルームやレストラン、休憩場、サウナ風呂などを置く。スタジアムは各種陸上競技、馬術、サッカー、近代五種が行なわれる主競技場で、三十四本の片持ちばり（梁）を組合せ、内部に一本の柱も使わない、大テント状長円形の建物だ。

スタジアムはマストから懸架した取外し自在の屋根をかぶせることになつてお

オリンピック・アラ・カルテ

公式シンボル・マーク

手をつなぎ合う世界、オリンピック理想の継続を象徴する五つの輪、その上に図形化したのせたモントリオールの頭文字M、そしてオリンピック・スタジアムのトラックを示す、Mの中心と五輪の中心を結ぶ長円——モントリオール大会のシンボル・マークは、オリンピック大会の理想である兄弟愛、勝利の栄光、モントリオールのオリンピック都市としての誇りを想起させる。



り、大会後は冬でも野球やサッカー、フットボールなどができる。ペロドームは貝に似た建物で、自転車競走、ハンドボール、バスケットボール、バレーボール、柔道、ボクシング、テニスなどの競技が行なわれるようになっている。屋根は九十メートルの大アーチになつているため、視界をさええられ、ことなくいろいろな競技を観覧できる。オリンピック大会期間中、約一万人の選手、役員が宿泊するオリンピック村は、四棟の半ピラミッド形の建物からなる。三棟が男性用、一棟が女性用。地下には食堂、通信、医療、サウナなどの施設が揃っているほか、レクレーションや社交、ショッピング用のインターナショナル・センター、および病院がすぐ近くにあつて、至つて便利だ。オリンピック大会同様、男女や国籍などの違いを取り外して、世界のスポーツ選手たちが集う場所——それがオリンピック村だ。

聖火

ギリシャのオリンピアで太陽熱から点火されたオリンピック聖火はアテネまで運ばれると、そこで電離した分子が電波信号に変えられ、通信衛星によつて一瞬のうちにオタワへ送られる。電波信号はレーザー光線によつて元の聖火に再生され、リレー走者によつてモントリオールへ運ばれる。

COJO

COJO（コージョー）とは、モンペ